

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策(案)		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の海洋科学に対する意欲や探究心を高める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②実習や学校行事、生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	①アクティブラーニングの視点を踏まえた授業(以下AL)の教員研修会の実施及び内容の充実を図る。 ①教育課程編成基準の変更を機に、学校設定科目を中心として専門教科科目の教育内容や単位数を精査する。	①全教科でアクティブラーニングを取り入れた公開授業を実施するとともに、公開授業終了後に小グループに分けた研修会を実施する。また、すべての教員が単元において1回はALに取り組む。 ①編成基準の変更内容を鑑み、専門教科科目の教育内容や単位数を再度確認する。	①生徒による授業評価の項目4における「4 かなり当てはまる」の回答率が3割以上となったか。 ①既存の専門教科科目の教育内容及び単位数を適切に評価できたか。					
2 生徒指導・支援	①行事・部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①行事、委員会、部活動の活性化を図る。 ②日常的に生徒の行動変化に気を配り、きめ細やかな対応を図る。	①生徒会役員を中心においた生徒活動全般を教職員全員でサポートする。 ②生徒の変化に対する職員の情報共有化と、支援体制を構築する。	①生徒活動全般をサポートできていたか。 ②生徒の変化に対する情報共有と支援体制が構築され、円滑に進められていたか。					
3 進路指導・支援	生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。	・生徒自らのキャリア発達を意識できるよう履修ガイダンス機能の一層の充実を図る。 ・生徒の専門に対する意識を深化し、進路を考える機会とする専門に関するインターンシップの充実を図る。	・進路指導や進路支援と履修指導が有機的につながるよう各年次と連携を密にした履修指導を行う。 ・インターンシップの参加生徒を増やすために、生徒の専門に直結する業種の開拓を目指し、コンソーシアムサポーター(以下CS)を有効活用する。	・履修指導によって選択した進路、系列についてのアンケートで肯定的な意見が7割を超えたか。 ・専門に関するインターンシップの新規受入れ先が増えたか。					

4	地域等との協働	<p>①教職員一人ひとりが創意工夫し学校の魅力を開発・発信し、学習センター機能を充実・発展させる。</p> <p>②地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①地域社会に積極的に情報を発信し、水産海洋の専門高校としての本校の特色ある教育活動についての理解を深めながら連携事業を推進していく。</p> <p>②地域企業等との取組を進め、より地域から信頼される学校づくりをすすめる。</p>	<p>①ホームページの内容をさらに充実させていくとともに、学校案内やパンフレット、ポスターなどのデザインや掲載内容の充実を図り、より有効な配付先やタイミングなども検討し実施していく。</p> <p>②地域産業界との新商品の共同開発や実習製品の販売などをめざす。</p>	<p>①ホームページへのアクセス数が増えたか。また、各種作成物の内容と配付先、配付数の実績が上がったか。</p> <p>②生徒の自己肯定感（アンケート）を高める取組ができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。	神奈川県教育課題について教職員の意識を高める取組を進める。	前期及び後期にコミュニティ・スクールに関する研修会を開催する。	研修会の出席率及び理解度（アンケート）を高めることができたか。					